



2018年11月2日

各 位

会 社 名 株式会社タクミナ
代表者名 代表取締役社長 山田 信彦
(コード 6322 東証第2部)
問合せ先 執行役員経理部長 吉田 裕
(TEL 06-6208-3971)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月8日に公表しました2019年3月期通期連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

① 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,150	百万円 940	百万円 960	百万円 670	円 銭 93 25
今回修正予想(B)	8,600	1,200	1,220	850	118 30
増減額(B-A)	450	260	260	180	
増減率(%)	5.5	27.7	27.1	26.9	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	7,817	890	918	753	104 80

② 修正の理由

上期は、売上高及び利益ともに順調に推移しました。当社を取り巻く受注環境は好調で、滅菌・殺菌市場やケミカル・電子材料向けを中心に「スムーズフローポンプ（高精度ダイヤフラムポンプ）」に代表される高付加価値商品の比率も上がり、売上総利益率が改善した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も、それぞれ大きく増加しました。下期につきましても足元は引き続き堅調なことから、前回発表の予想を上回る見込みです。

2. 配当予想の修正

① 配当の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想 (2018年5月8日発表)	—	25円00銭	35円00銭
今回修正予想	—	30円00銭	40円00銭
当期実績	10円00銭	—	—
前期実績 (2018年3月期)	10円00銭	25円00銭	35円00銭

② 修正の理由

当社は株主各位への利益還元を経営の最重要課題と位置づけており、継続的な配当の実施を基本方針としております。利益の向上を通じて企業価値向上をはかるべく、内部留保資金は、将来の成長分野への重点投資に有効活用するとともに、業績及び収益に対応した配当の実施により、株主各位へ利益還元してまいります。

当社配当政策の配当性向30%以上とする基本方針に沿って、期末の1株当たり配当金を前回予想から5円増配の30円00銭（年間 40円00銭）とする予定であります。

※ 業績予想に関する注意事項

当業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上